

熊本市 南区地域包括ケアシステム推進会議
令和5年度「人生会議セミナー」アンケート集計結果【上半期】

参考資料 1

【南区 福祉課】

〔1〕人生会議セミナー

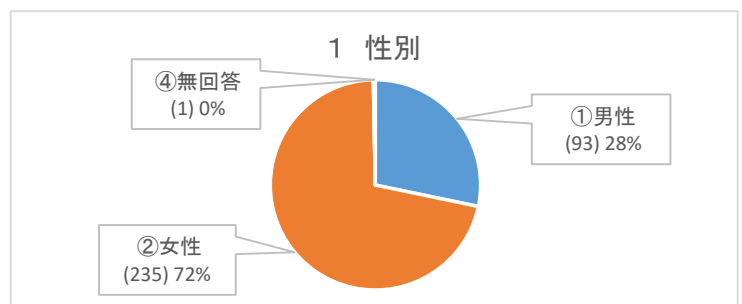
▶ 講 師 医療法人相生会 にしくまもと病院

名誉院長 林 茂 先生

開催日		参加者	回答者	回答率
(1) 令和 5年 5 月22日 (月)	□ いきいき碓江サロン	30名	29名	96.7%
(2) 令和 5年 6 月26日 (月)	□ 熊本市富合商工会	14名	13名	92.9%
(3) 令和 5年 6 月27日 (火)	□ 富合校区健康まちづくり推進委員会	20名	18名	90.0%
(4) 令和 5年 7 月20日 (木)	□ 富合・城南圏域多職種連携ネットワーク会議 (第1回	52名	52名	100.0%
(5) 令和 5年 8 月 5 日 (土)	□ 莎崎自治会	39名	36名	92.3%
(6) 令和 5年 8 月21日 (月)	□ 南区障がいネットワーク連絡会	43名	41名	95.3%
(7) 令和 5年 8 月29日 (火)	□ 祥麟館職員研修	24名	24名	100.0%
(8) 令和 5年 9 月20日 (水)	□ 廻江区	24名	21名	87.5%
(9) 令和 5年 9 月27日 (水)	□ イキイキ健康教室	31名	31名	100.0%
(10) 令和 5年 9 月29日 (金)	□ 城南校区自治協議会	96名	64名	66.7%
計		373名	329名	88.2%

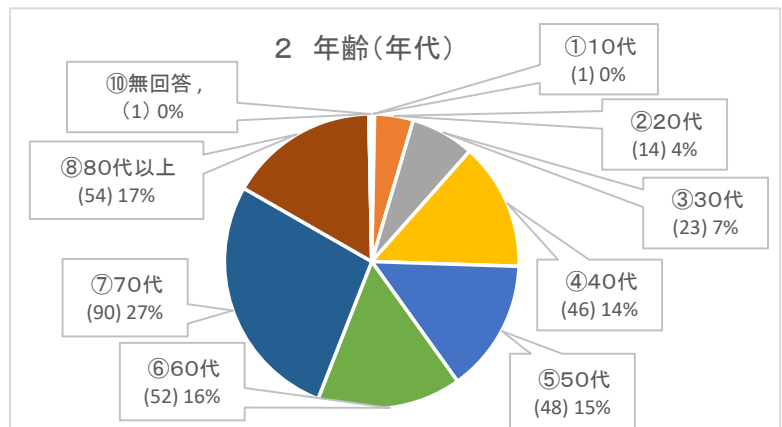
【問1】あなたの性別をお答えください。

①男性	93
②女性	235
③回答しない	0
④無回答	1
計	329



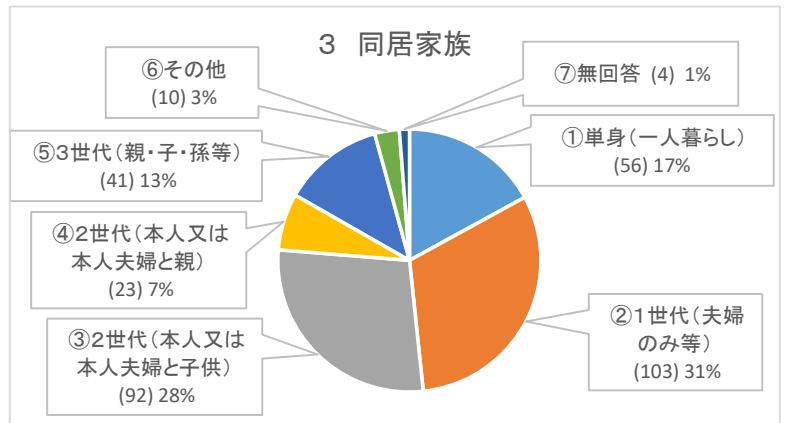
【問2】あなたの年齢（年代）をお答えください。

①10代	1
②20代	14
③30代	23
④40代	46
⑤50代	48
⑥60代	52
⑦70代	90
⑧80代以上	54
⑨回答しない	0
⑩無回答	1
計	329



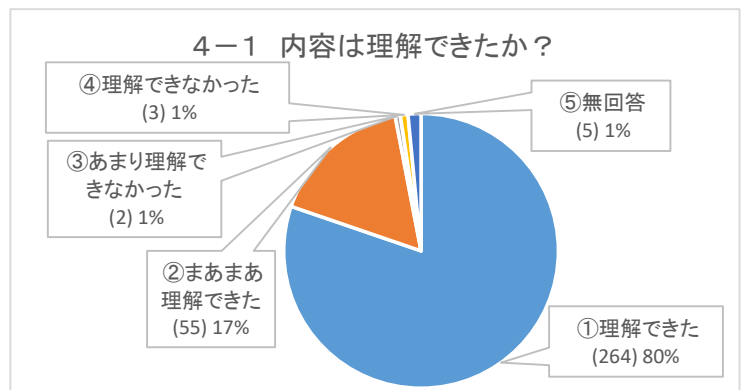
【問3】あなたの同居家族についてお答えください。

①単身（一人暮らし）	56
②1世代（夫婦のみ等）	103
③2世代（本人又は本人夫婦と子供）	92
④2世代（本人又は本人夫婦と親）	23
⑤3世代（親・子・孫等）	41
⑥その他	10
⑦無回答	4
計	329



【問4】本日の講演「人生会議のすすめ」を聞いて、内容は理解できましたか？

①理解できた	264
②まあまあ理解できた	55
③あまり理解できなかった	2
④理解できなかった	3
⑤無回答	5
計	329



○問4で、「①理解できた」「②まあまあ理解できた」を選んだ理由は何ですか？

〔内容について〕

- ・実体験を元に話があり、とても分かりやすかった。（26）
- ・とても分かりやすかったです。（14）
- ・何度も聞いているため。（4）
- ・勉強になった。（4）
- ・身近に感じる内容（問題）であった。（3）
- ・スライドに沿って話されたのでよく理解できた。（2）
- ・丁寧に話していただき、理解できたと思う。（2）
- ・医者として、また自分の経験から、分かりやすく説明してもらった。
- ・林先生が分かりやすい言葉で、体験談を交えて話されたこと。
- ・わかりやすく、順序よく話してくださったので、良かったです。
- ・先生の実体験を話していただき、いろんな選択肢があることが良く分かりました。
- ・先生の話はよく分かりました。医療関係が分かりません。
- ・先生のお話は分かりやすく大変良かったです。資料が多くあって、いつでも見れるので助かります。
- ・資料や講義の内容も身近な話で分かりやすい。
- ・先生のお話は、何度か傾聴しているが、毎回学びがある。
- ・数回講演を聞いている。看取りに興味がある。
- ・林先生の人生会議は、今回で3回目となりました。何度か話すうちに考えも少し変わってきていますが、よく理解できました。
- ・「人生会議」セミナー2回目の講演だったので、より理解を深めることができました。
- ・延命について、考えることができました。
- ・医療は必要だが、最期の時の判断など、とても理解できた。
- ・今後生活していくうえで、何をするか分かった。
- ・身内の看取り体験など、貴重な話だった。
- ・先生ご自身の経験から話しをしてくださり、イメージがわきやすくその必要性を感じた。

- ・なるほどと思ったから。
- ・最期の段階の在り方について、納得できた。
- ・人生会議の大切さがわかった。
- ・深く考えることができた。
- ・初めて講演会に参加させていただいて、人生の最期の迎え方について考える機会となった。
- ・人生会議について、分かりやすく最期を考えれる機会になりました。
- ・人生会議の目的、必要性を医療の実情・背景を踏まえて理解することができたので。
- ・人生会議の意味、地域包括ケアシステムにおける位置づけ、重要性を理解できたため。
- ・死について、あまり意識してこなかったのが、今回の講演で理解できたから。
- ・今まで漠然と思っていた状況を、より身近に考えることができた。
- ・何人も介護して、最期苦しくない方を知ったから。
- ・まさに今、実母の人生の最終段階を迎えている最中です。医療に素人の私には、病院や施設を転院したりする時、不安しかありません。今から看取りを考えるにあたり、とても参考になりました。
- ・まあまあ理解できたから。
- ・少しでも理解しようと思っています。

〔自分のこととして〕

- ・自分の思いと通じる話でした。(2)
- ・自分も勉強が必要と思った。(2)
- ・理解はできたが、まだまだこれから勉強したい。
- ・改めて聞いて、考えさせられました。
- ・自分ごととしてもとても勉強させていただきました。
- ・理解とは違いますが、考え方が変わった。
- ・自分の今後について考えながら理解できた。
- ・自分はどうしたいのか考えさせられた。
- ・とてもいい講演でした。なかなか聞けない話で、自分に置き換えて感じるものがあり良かったです。
- ・人生の最期について考える視点が理解できたため。
- ・自分にとっての死に対し、向き合う方法を理解できたと思ったため。
- ・実際に手帳の記入もして、自分のこととしてより具体的に考えることができた。それにより理解も深まった。
- ・自分自身の最期について、考えさせられた。
- ・自分のためですので、参考にして実行してみます。
- ・最期は自然死がいいと思った。
- ・先生と同じ思いで、何もしないで苦しまず自然にと思っています。
- ・常に看取りのこと、自己選択のことを考えているから。
- ・自分の中での理解と、一般的な理解に誤差があると思うので。
- ・切実感あり。

〔家族等との関わりを通して〕

- ・高齢の母がいるので、身近な問題だと認識しました。
- ・親の介護の経験がありますので、当時を思い出しました。
- ・最近、がんで亡くなった兄がいたので、考えさせられていた。
- ・自分の最期について、自分の思いを家族と話し合っておくことの大切さを知ることができた。
- ・自分も娘たちと色々話し合っている。
- ・さっそく、まずは夫と人生会議をやりたいと思った。
- ・話し合いが、子供たちとうまくできるか？

〔意志を残しておくことについて〕

- ・もしもの時にそなえ、前もって話し合っておく内容が具体的で理解しやすかった。
- ・人生の最終段階に至る前に、事前にしっかりと会議をして書面に残しておくことの大切さを理解した。
- ・記入しておく必要性が理解できた。

〔その他〕

- ・初めて聞いたので。(2)
- ・興味があり、お話を伺いたかった。

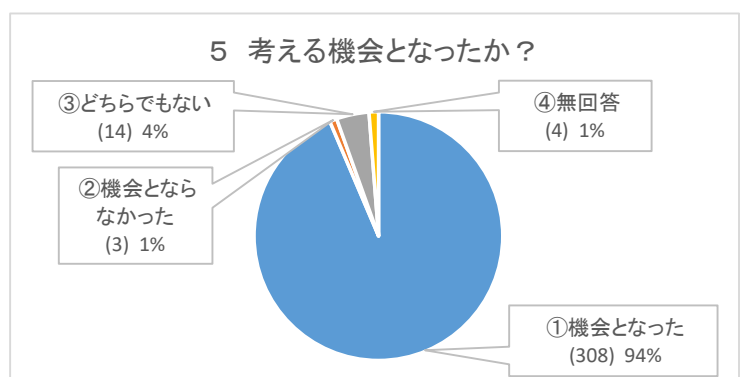
- ・理解してはいたつもりでしたが、完璧ではないので。
- ・色々考えてはいたが、深くは考えていなかった。
- ・知識があまりなかったの。
- ・「平穏死のすすめ」を読んだことがある。
- ・以前、石飛先生の本をちょうど読んでいたので。
- ・以前の人生会議にも参加。石飛先生やたんぼ先生の本を読んだ。
- ・私は、今日で5回目です。（1回目民生員会議、2日目アスパル富合、3回目天明ホール、4回目碓江サロン）
- ・とても役に立ちました。ありがとうございました。
- ・貴重な話を聞かせていただくことができた。
- ・最期の話についてあまり触れることがなかったので、今後のためにとても良い話だったと思います。
- ・本人が意識がないときなど、判断させられたことが多数あって、困った経験がある。元気な時に確認したい。
- ・タイミングが難しいですが、支援の中でも必要な方の心あたりがあり、いずれご紹介できればと思いました。
- ・まだ夫婦元気ですが、主人の母を93歳で去年亡くし、自宅で、妹や孫たち12人～14人、ひ孫10～12人位みんなで最期を送りました。
- ・在宅看取りも病院看取りも経験があるので。
- ・実際にやったことがある。

○問4で、「③あまり理解できなかった」「④理解できなかった」を選んだ理由は何ですか？

- ・以前から考えていた。
- ・以前から関心があり、勉強していた。

【問5】本日のセミナーを聞いて、ご自身の「人生の最期の迎え方」について考える機会となりましたか？

①機会となった	308
②機会とならなかった	3
③どちらでもない	14
④無回答	4
計	329



○問5で、「①機会となった」を選んだ理由は何ですか？

〔内容について〕

- ・人生会議をする重要性を知れた。（2）
- ・「私の想い」手帳を使って、人生の最期について考える機会になったため。（2）
- ・分かりやすかった。
- ・とても納得のいく内容でした。
- ・同じ趣旨の講演を聞いたことがあるので、納得し更に安心した。
- ・Drの体験に同感。
- ・事例を通して、必要性を強く感じました。
- ・とても考えさせられました。
- ・先生のお話で気付くことが多かった。
- ・死に方を考える機会になった。
- ・少しずつ考えなければと思った。
- ・具体的に教えていただいたので、今後考えたいと思います。
- ・これから後のためになった。
- ・講演を聞く中で、コミュニケーションを図り、伝えることが大事だと感じました。

- ・自分自身も環境の変化によって、合わせていくことも大切と常に考えます。とてもありがたい講演でした。
- ・まだまだ聞きたいでした。先生のお話はとても聞きやすかったです。勉強になりました、ありがとうございました。熊本にもこんな素晴らしい先生がいらっしゃることに感謝します。
- ・以前、父が「にしくまもと病院」様に入院した時、林先生から、家族の私へ「これからの自分の人生を大切に」と言って頂きました。その言葉は、今でも大切にしています。
- ・自分自身の病気に対する対処の仕方を再確認し、今後の療養についても考えを強く持つようになりました。
- ・医療介護システム等、詳しく知らないことが多かったので、大変良かった。
- ・各治療における知識のなさによって、家族又は支援者に対するサポートが権利を侵害してしまう可能性もあると感じた。

〔自分のこととして〕

- ・自分の人生の最期について、考えたことがなかったので、良い機会になりました。(6)
- ・考えなければならぬと思いながら、考えたくない思いもあった。いい機会となった。(2)
- ・自分のこととして考えられた。(2)
- ・自分の中で考えている。(2)
- ・自然がいい。(2)
- ・死について、自分の身近なものに感じてなかったから。
- ・自分だったら……と考えながらお話を聞かせて頂きました。
- ・自分自身の最期について、考えさせられた。
- ・最期の状態に自分を置くことができた。
- ・人生は誰もが最期を迎えることがあるので、今のうちから少しづつ考えようと思った。
- ・人生の最期が近くなり、考える時期となっている。
- ・自分も年を重ね体の不調を感じるが多くなり、死を意識するようになった。
- ・体が弱ってきているので、これからのことを考える良い機会になり、ありがとうございました。
- ・より具体的に考えることができた。
- ・心臓のカテーテル手術を受け、私も最終期をむかえる準備をしなくてはならないと強く思った。
- ・自分のこととしてまだあまりピンとこなかったが、話を聞いてい考え方が変わった。
- ・時々思うことはあってもきちんと向き合ったことがなく、考える年齢になっていると思いました。
- ・元気で最期を迎えたい。

〔意志を尊重するため〕

- ・「自分らしくとは」と考える機会になったため。
- ・自分の思いを家族にきちんと伝えなければならぬと思った。
- ・元気な間に希望を言っておくべきだと思うから。
- ・子どもたちと自分の思いは違うと思うので、ゆっくり話し合う機会を作りたい。
- ・自分の中である程度どこまでするのか（延命を希望するのか）を決めてはいたんだけど、誰かと話し合ったことはなかったので。
- ・家なのか、施設なのか、とても迷っている自分がいて、自分でも気づいていなかったことなのでびっくりしました。家族とも話してみたいです。
- ・老後のことはまだイメージできないが、今考えられる範囲で意思を示していきたいと思った。
- ・主人も私も70歳を過ぎ、子供たちに思いを伝えた方がいい機会になると思います。
- ・細かい意志を伝えようと思う。
- ・紙上にて残しときたいと思いました。

〔家族等に対して〕

- ・家族と話し合い、書き残しておく（伝えておく）ことが大事（必要）だと分かった。(5)
- ・いつ何があるか分からないので、家族と話しておかないといけないと思った。(2)
- ・家族と話したいと思います。(2)
- ・今20代のため、死について考えることがなかったが、事故や病気に突然あうことがあると改めて思い、自分の意志を今のうちから家族に伝えておくべきだと感じた。
- ・家族には自分の考えを伝えていますが、書面で残すことが大事だと思った。
- ・今のうちに（元気な時に）メッセージノートを活用し家族で話し合おうと思いました。
- ・事前にやることでめずるに済むと思った。

- ・なるべく周りに迷惑がかからないよう。
- ・自分の家族と重ねて講演を聞けたため。
- ・具体的な先生のご親族の例を教えていただき、自身や家族など、まず身近なところから考え想像したため。
- ・自分だけでなく、家族の最期を見直す機会となった。
- ・自分の年齢を考えると、両親、兄弟、自分の家族の今後の過ごし方をよく考えるようになったので。
- ・みんなが納得して最期を迎えるためにも、両親にも話したい。
- ・自分、親と話ができればと思った。
- ・親が高齢で、話し合う機会はいると思った。
- ・自分では親を見て考えてはいるが、子供と話すことはなかったなので、機会を見て話そうと思う。
- ・人生の最期の時のこと、子供たちともよく話し合いたい。
- ・親の施設行きの時兄弟で話し合いましたが、本当なら親も含め話していたら良かったとしみじみ思いました。
義親たちとはしっかりと話し合いたいと思いました。
- ・たまに、同居の娘が、遺言書を書いておいてと言うので。
- ・子供たちと真剣に話してこなかった。
- ・子供が帰省した時の話になる。
- ・妻が大病をしたから。
- ・妹が急死したこともあり、関心はあった。
- ・両親の最後を見ているので。

〔その他〕

- ・人生会議は、節目ごとに大切とわかりました。
- ・気持ちが色々と変わっていくので、また新たに考える機会となった。
- ・60代なので、先を考えるとよい機会となった。
- ・最近ではその日のことで頭一杯で、最期の迎え方を考えていなかった。
- ・自分だけでは、何も伝えられなかったと思います。
- ・最期は、人にお世話になる。
- ・もっとたくさんの方に知っていただく機会をつくってほしいと思いました。
- ・1回目の時に親と人生会議をした。今回も改めて自然な死を迎えたいと思った。
- ・実際、両親が参加し、考える機会となったから。
- ・今まで知識がなかった。
- ・参加者の質問を聞いたりしたので。
- ・記入しなければと思いました。
- ・妹に生前葬したいと相談したら、断られた。
- ・今持っているケースを含めて、自分自身の最期の迎え方を考える機会になりました。
- ・専門職として、利用者や家族へ伝えることがあり、日々考える機会がある。
- ・支援者としても、個人としても、自分に置きかえて考えさせられました。これから考えるきっかけになりました。

○問5で、「②機会とならなかった」を選んだ理由は何ですか？

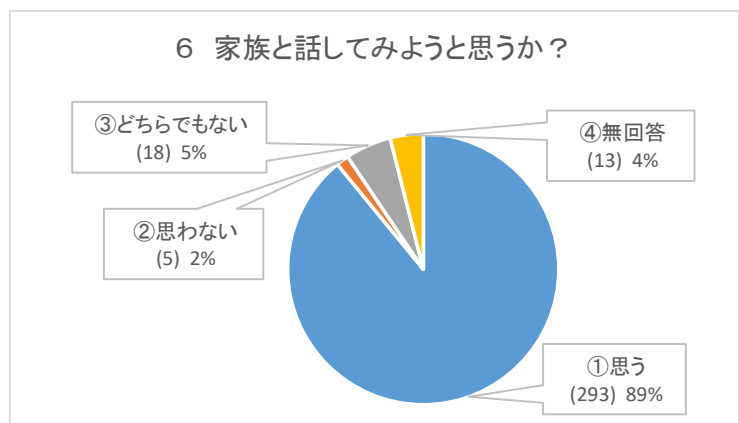
- ・自分以外の家族へ想いを伝える大切さを知りました。

○問5で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

- ・自分が病気をして亡くなるという未来は予想していない。最後まで元気でびんぴんころり希望。
- ・実感がない。
- ・以前から考えていた。
- ・今日とも知れず、明日とも知れず。正にその中を過ごしております。（93歳）

【問 6】これを機に、ご自身の治療の希望や最期の迎え方に対する想いを家族と話してみようと思いますか？

①思う	293
②思わない	5
③どちらでもない	18
④無回答	13
計	329



○問 6 で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

〔自分のこととして〕

- ・自分の意志を家族へ伝えておくのは、大切（大事）と思いました。（2）
- ・家族と話し合いをし、気持ちを聞いて決めていきたい。（2）
- ・自分のことだから。
- ・最期まで悔いのないようにしたい。
- ・自分の想いを伝えたことがないから。
- ・今の気持ちと数年後は違うでしょうが、考えることの大切さがわかった。
- ・いつも、何もしないでいいと話している。
- ・最期の後始末を頼むために必要。

〔意志を尊重するため〕

- ・家族に自分の想いを伝えておきたいから。（3）
- ・まだ元気なうちに、ノートに記入しはつきり伝えたい。
- ・自分が望んだ形で死にたいから。
- ・家族に理解してもらうことは大事である。

〔家族に対して・家族等との関わりを通して〕

- ・いつ、どういう状況になるか分からないので。（6）
- ・自分だけでなく、家族の意志も知っておきたい。（5）
- ・すでに話す機会を持っている。（4）
- ・家族で話し合ったこと（機会）がない。（4）
- ・家族を悩ませたくないため。（4）
- ・家族に迷惑をかけたくないから。（2）
- ・お互いの意志確認が必要と思った。（3）
- ・家族と話すことは大切だと思いました。（2）
- ・自分の人生であるが、残される家族の人生へも影響することと感じているから。
- ・共有しておくことで、自分も家族も納得のいく選択ができると思うため。
- ・夫婦で年に1回～3回くらい話し合っているの、また話せたらと思う。
- ・色々話はしていますが、もっとしっかり話し合わなくてはいけないと思いました。
- ・時々話していますが、親子の間で意思確認をしておきたいと思います。
- ・家族のため、自分のため。
- ・今まで、家族と一度も話したことがないため、話しておく重要性が今回わかった。
- ・早速、家族や妹たちに伝え、家族会議をしてみることにしました。
- ・機会をみて話したいと思います。
- ・話してみたいです。繰り返し話していく内容かと思っています。
- ・子どもたちとゆっくり話したいと思う。（2）
- ・子供たちの想いがどうなのか？
- ・主人から始める。
- ・自分自身もそうですが、両親のことについても話せる機会がくれたらと思いました。
- ・親の思いについて、まずは知る機会を設けたいと思った。（2）

- ・両親の年齢を考えると話しておいた方が良かったと思った。良い最期を迎えてもらいたい。
- ・なかなか家族の話し合いにもっていきのが難しい。親が、メッセージノートや話を嫌がったことがあった。
- ・家族が自分より年長なため、自分よりも関心があると思われるため。
- ・子供から、後のことをキチンと整理しておいてとの話。

〔その他〕

- ・絶対に必要なこと。(2)
- ・講演を拝聴して。
- ・きっかけとなった。
- ・この機会を活用したいです。
- ・これまで考える機会が無かったが、今元気なうちに。
- ・もう少し先になると思います。
- ・人それぞれの考え方が様々なので。
- ・今まで人生たのしく過ごすことができました。今すぐでも死んでもよいと思いながら過ごしています。
- ・持病を持っているので、毎日が心配です。
- ・70歳以上に年を取ったから。
- ・胃ろうなど嫌だと思った。

○問6で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

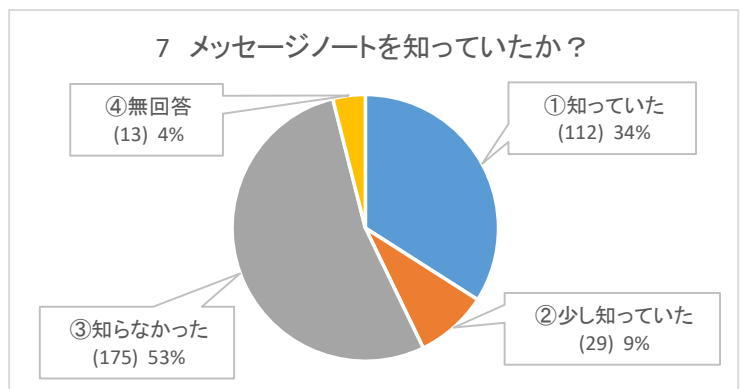
<回答なし>

○問6で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

- ・近い将来には機会があると考えている。
- ・まだ先のように思っているの。
- ・話の切り出し方について知りたい。
- ・自分のことより親のことが先かな。
- ・両親に死の話をした場合、反応が心配だから。

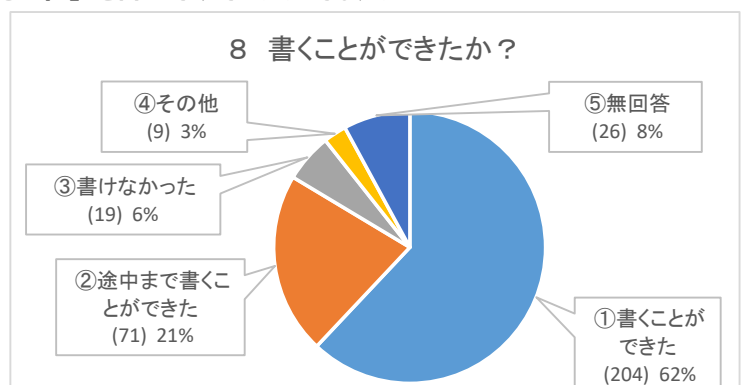
【問7】熊本市が作成しているメッセージノートを知っていましたか？

①知っていた	112
②少し知っていた	29
③知らなかった	175
④無回答	13
計	329



【問8】『「人生の最終段階」に受たい医療（私の想い）』を書いてみていかがでしたか？

①書くことができた	204
②途中まで書くことができた	71
③書けなかった	19
④その他	9
⑤無回答	26
計	329



○問8で、「①書くことができた」を選んだ理由は何ですか？

- ・内容（項目）が分かりやすく記入しやすかった。（4）
- ・現在の自分の思いを書くことができた。（4）
- ・自分の想いは決まって（決めて）いる。（4）
- ・自分の最期のことは、いつも考えている。
- ・先生の話を書いて書くことができた。（3）
- ・以前から決めていた。（2）
- ・深い内容まで書くのかと思っていたが、意外と簡単。各治療のメリット、デメリットの理解も必要と感じた。
- ・今日の話を書き、あらためて自分の意志を決めることができたため。
- ・セミナーの話を書いて、気持ちがいそがしかった。
- ・以前、記入した時と変わらなかったため、再確認できた。
- ・研修での説明で、自分の思いを確認できた。
- ・改めて自分の思いを確認できた。
- ・「最期を誰と」という部分が難しかったが、しっかり考えることができた。
- ・看護学生の時にも考える機会があった。
- ・大切なことだと思いました。
- ・自分の希望を書いて残しておきたかったから。
- ・自分の想いを家族に伝えることができるため。
- ・家族に負担をかけない方法を選びたいので具体的に書いた。
- ・これを残すことで、身内が安心できると思う。
- ・家族のため、自分のため。
- ・最近父が亡くなったので、書きとく方が、家の者が分かりやすい。
- ・少し迷いながら記入しました。（2）
- ・もう少し考えたいと思う。（家族で）
- ・今の考えだから、もう少しおとろえたら変わるかもしれない。
- ・その時の年齢でも違うかなと思いました。40代・50代・60代と書き換えていく必要がある。
- ・書くことはできたが、真にその時の状況は理解できないかもしれない。
- ・気持ちは、すごくありますが、その時の状態でどう変わるかがわかりません。
- ・自分はまだ若いからと想像しにくかった。
- ・現実感がない。
- ・いつも、何もしないでいいと話している。
- ・以前より自然死を望んでいる。（独居）
- ・延命治療はしないと決めていた。
- ・「自然な最期」が良いと考えられるようになった。
- ・いろんな方の最期を見てきたので。

○問8で、「②途中まで書くことができた」または「③書けなかった」を選んだ理由は何ですか？

- ・可視化することにより、思いが伝わると思いました。
- ・現在書いている。
- ・じっくり考えて書こうと思う。（4）
- ・選べない（迷う）項目があった。（3）
- ・具体的に考えたことがなかった。（2）
- ・まだ考えがまとまらない。
- ・死について漠然としすぎてわからなかったから。
- ・時間が足りない。
- ・今後の思いが変わるかもしれない。
- ・かかりつけ医とかまだ決まっていないので。今の思いは書けました。
- ・連絡先（専門職）が、まだ具体的に考えられない。今は、特に病気にかからず、一人で生活できているので。
- ・連絡してほしい専門職の問への回答ができず。かかりつけ医がおらずその他の選択肢も、現状では該当者がいないため。

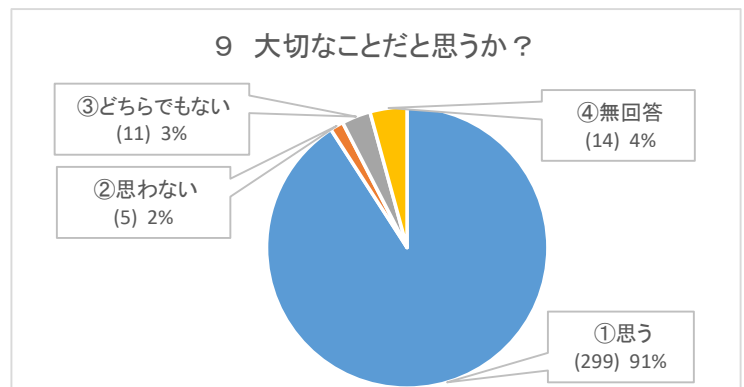
- ・かかりつけ医、ケアマネ等がない。（2）
- ・今は元気なので。
- ・まだ死につながる病気がない。
- ・医療行為のそれぞれのメリット・デメリットについて、まだ理解できていないため、まず知ってから書きたい。
- ・医療的な話は分かりません。

○問8の「④その他」

- ・まだ実感がわかない。（自分のことは考えられない）
- ・自分の意志は書けたが、家族と話し合って考え直したいから。
- ・書けたが考えはすごくぶれる。
- ・選択肢がないものがあつた。

【問9】ご自身の意志を書き残すことについて、大切なことだと思いますか？

①思う	299
②思わない	5
③どちらでもない	11
④無回答	14
計	329



○問9で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

〔自分のこととして〕

- ・自分の人生と思うので。
- ・自分の望んでいない治療はしてほしくないから。
- ・生かされるのはいやだと思う。
- ・延命してほしくない。迷惑をかけたくないから。
- ・自分の「生き方」のラストとして、許されるのであれば、「死に方」を選びたいと思った。
- ・最善な死を迎えられるようになるため。
- ・人の気持ちは自分自身しか分からないため。
- ・本人の想いを知っていてほしいから。
- ・自分の意志は、残さないと分からない。
- ・思っているだけでは分からないので、残しておくことが大切。
- ・やはり、自分の思っているようにはなるかが気になります。
- ・自分の思いと違うことがあると思う。
- ・思ったことをしてほしい。

〔意志を伝えるため〕

- ・自分の考えを残った人に伝えたい。（2）
- ・意志を伝えるため。
- ・人に伝えることで、想いを知ってもらえるから。
- ・自分の事を書くこと。次の世代に伝えることは大切だと思いました。
- ・意志の伝達の方法として、適切と考える。
- ・相手に残る形で伝えることができるので大切だと思う。
- ・自分の思いを可視化することで、家族にも伝わりやすいと思います。
- ・毎年、自身の誕生月に記録している。（更新）
- ・聞いた聞いていないの話にならないようにするため、大事なツールだと思った。
- ・歳を年を重ねるごとに思いが違ってくると思うので、書き残すことは大事だと思う。

- ・意志を伝えることができなくなった時に困らないように。(2)
- ・思うだけでは周囲へ充分に伝わらないことが、Drにも伝えやすいと思うため。
- ・大切だと思うが、意思決定できない時期での支援になっている。
- ・家族と意思が同じとは限らないから。
- ・もしかすると、家族の意向とは食い違うことや、自分自身の気持ちもわかるかもしれないから。
- ・書き残さないと分からないし、忘れてしまうこともある。

〔家族等との関わりを通して〕

- ・残された家族等を悩ませない(困らせない)ように。(12)
- ・家族のために。(5)
- ・家族に迷惑(負担)をかけたくない。(3)
- ・家族に伝えるために必要。(2)
- ・もしもの時、家族が判断しやすいように。(2)
- ・息子たち2人とも独身で、心配かけたくない。
- ・1人で判断することは、とてもつらいことだと思うから。
- ・書けたがとても迷った。いざというとき、自分でも迷うのに残される家族に任せるのは荷が重すぎる
- ・後悔を残さないために、家族や大切な人に決めさせない。
- ・主人の最期に慌てたので、家族に私の時あわてさせたくないため、いっぱい話し合っておきたい。
- ・家族が本人の思いを知っていると家族の考え方も変わる。
- ・時々、子供と話をする時があるので、書き残しておいた方が良いと思いました。
- ・自分と子供たちの意見が異ならないようにするため。
- ・希望しないことをしてしまう、させてしまうのは、本人、家族どちらにとっても酷だから。
- ・残される人にとっても大切だと思う。
- ・いつ何があるかわからないので。
- ・親族、医療関係者等の意思統一が大切だから。
- ・残された家族の思いを考えると。
- ・残されたものが納得できる。
- ・書くことで、子供たちがやりやすいと思う。

〔その他〕

- ・とても大切だと思いました。
- ・自分だけでなく、親の意志を確認していきたい。
- ・話が違ったり、トラブル防止になると思った。
- ・以前、子供に延命のことを話したときに、私はしないでと言ったら、まだ分からないと言っていたので。
- ・いつも言っているが、話にならないから。
- ・講演を拝聴して。
- ・身近な問題。

○問9で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

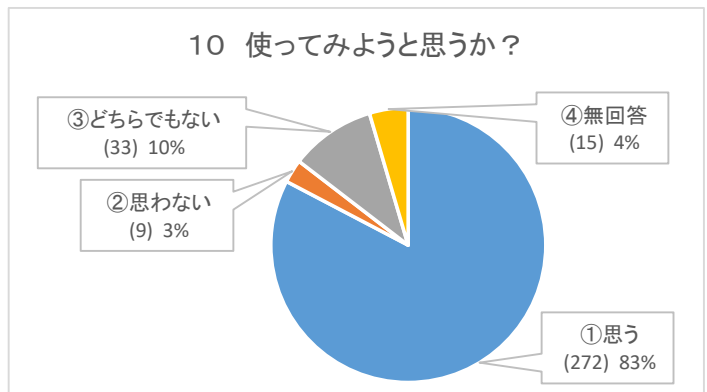
- ・言葉で伝えられるから。

○問9で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

<回答なし>

【問 10】 今後メッセージノートを使ってみようと思いますか？

①思う	272
②思わない	9
③どちらでもない	33
④無回答	15
計	329



○問 10で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

〔家族等に対して〕

- ・家族に残しておきたい。(2)
- ・家族で話し合ったりしてみたいから。(2)
- ・家族のため、自分のため。
- ・家族で話すことは大事だと思いました。
- ・夫婦で意思確認もできるから。
- ・家族と話したことがなかったので、きっかけにしたい。
- ・自分のため、家族のためにもお互いが後悔なく納得できるようにするため。
- ・自分の親ともメッセージノートを活用することで、今後について話し合うきっかけになるから。
- ・自分もいつかわからないし、両親のためにも。
- ・残される家族へ選択（責任）を事前に決定できるため。

〔意志を伝えるため〕

- ・自分の意志を文章に残しておく必要がある（書き留めておきたい）と思うから。(4)
- ・自分の思いを意志表示できる（伝わる）から。(3)
- ・自分の意志を家族に分かってもらうことが必要と思うし、安心であると思うから。
- ・自分のこと（考え）を知ってもらうツールとして、有効だと思ったため。
- ・口だけでは伝わり方が違うと思うから。
- ・自分の考えをまとめたい。
- ・節目節目には書いていこうと思う。
- ・自分の想いの整理にもなると思うため。
- ・自分の思いを確認していくために必要である。
- ・自分の想いが変わっていくか分からないけど使いたい。
- ・その人らしい死を迎えることができると思うため。
- ・とても大切な証明書になると思った。

〔その他〕

- ・書面に（意志を）残すことは大切だと思うから。(2)
- ・今後のことを分かりやすくまとめられているから。
- ・メッセージノートの重要性を感じたため。
- ・紹介してみたいと思います。(2)
- ・啓発活動に活用したい。
- ・両親にも見せたいと思いますし、ケースの中で機会があれば周知していきたい。
- ・受け持ちの方たちも人生会議についての理解はまだまだだと思うので。
- ・人生を考え直すために考えたい。
- ・機会があれば使いたい。
- ・ノートに挟んでおく。
- ・今すぐとは思わない。
- ・ゆっくり考えてみます。
- ・将来的には作ろうと思う。
- ・いつどうなるかわからないので。

- ・自分も75歳になるので、人ごととは思わなかった。
- ・もう年だから。
- ・講演を拝聴して。
- ・障がい向け（医療的ケア児や若い方向け）のメッセージノート、私の想い手帳があればいいなと思います。
- ・思うが、実際は難しい。

○問10で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

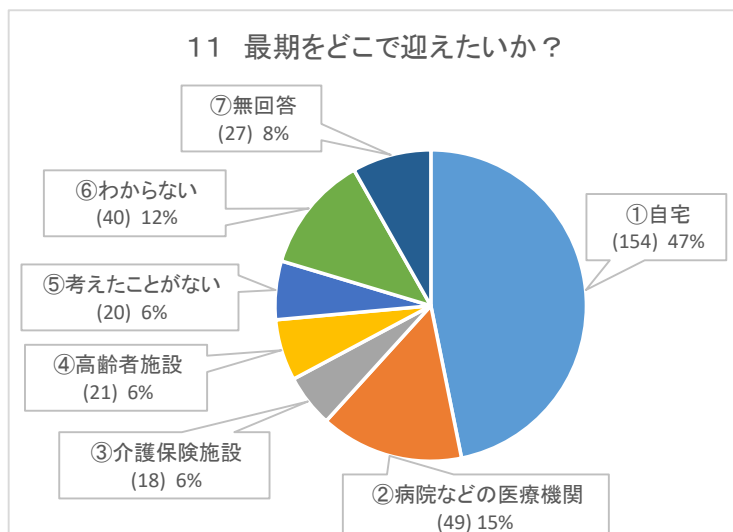
<回答なし>

○問10で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

- ・考えてみたい。（2）
- ・私の想い手帳が使用しやすい。
- ・私の想い手帳で。
- ・まだ先のことに感じたから。
- ・メッセージノートを読んでもみる。
- ・まだ詳細を見ていないため。

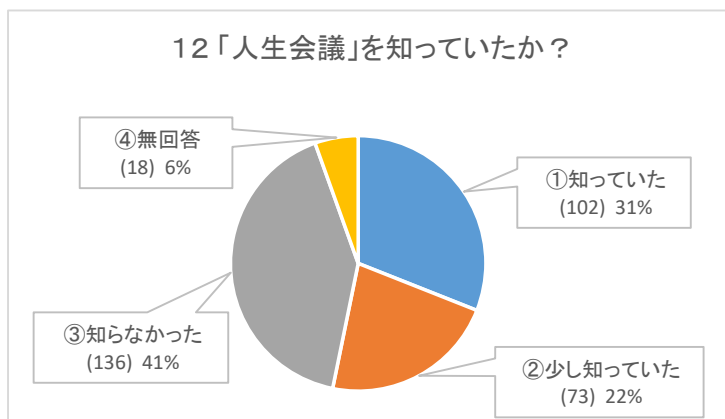
【問11】人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？

①自宅	154
②病院などの医療機関	49
③介護保険施設	18
④高齢者施設	21
⑤考えたことがない	20
⑥わからない	40
⑦無回答	27
計	329



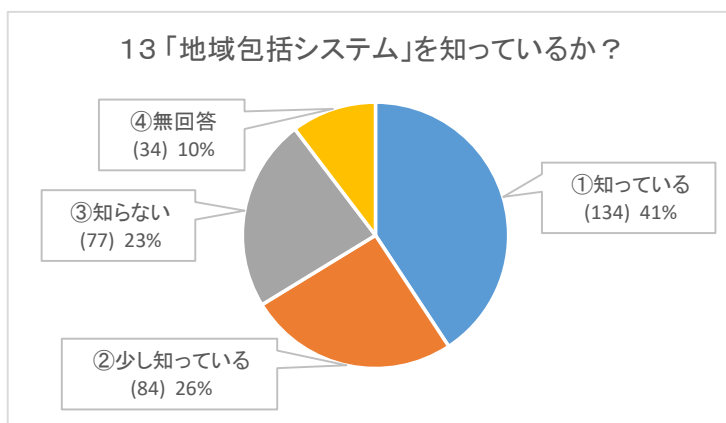
【問12】「人生会議」について知っていましたか？

①知っていた	102
②少し知っていた	73
③知らなかった	136
④無回答	18
計	329



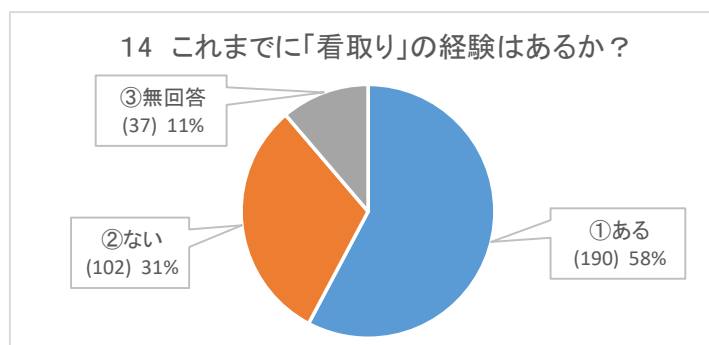
【問 1 3】「地域包括ケアシステム」について知っていますか？

①知っている	134
②少し知っている	84
③知らない	77
④無回答	34
計	329



【問 1 4】これまでに「看取り」の経験はありますか？

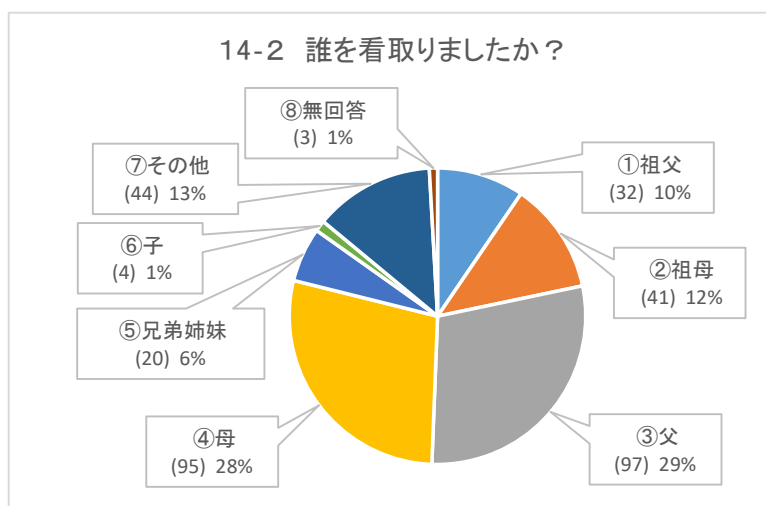
①ある	190
②ない	102
③無回答	37
計	329



※問 1 4 で「①ある」と回答した方

【問 1 4-2】誰を看取りましたか？（※複数回答あり）

①祖父	32
②祖母	41
③父	97
④母	95
⑤兄弟姉妹	20
⑥子	4
⑦その他	44
⑧無回答	3
計	336



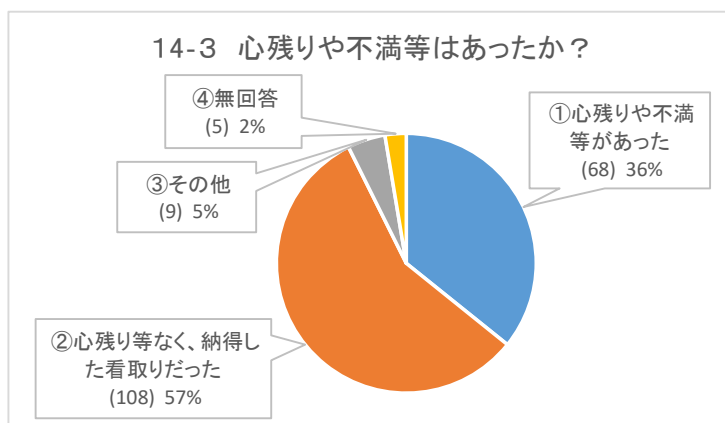
○問 1 4-2 の「⑦その他」

- ・曾祖母
- ・夫 (13)
- ・伯 (叔) 父 (5)
- ・伯 (叔) 母 (10)
- ・施設利用者 (14)
- ・業務上

※問14で「①ある」と回答した方

【問14-3】その看取りに、心残りや不満等ありましたか？

①心残りや不満等があった	68
②心残り等なく、納得した看取りだった	108
③その他	9
④無回答	5
計	190



○問14-3の「①心残りや不満等」は何ですか？

- ・事前に本人の希望を聞いていなかった。(2)
- ・本人の思いはどうだったのか分からない。(2)
- ・両親が元気の時確認していなかった。病院に入院しましたが、治療が2選択で良かったのかを考えた。
- ・会う回数が少なかった。
- ・もっと、そばにいてやりたかった。
- ・もっとしてあげたいことがあったができなかった。
- ・長期入院し病気で最期であったので、もっといろいろな話をすればよかった。
- ・もう少し寄り添ったケアができたのではないかと思います。
- ・本人の意思通りにできたかどうか。
- ・本人の意向に沿った看取りができなかった。
- ・誤嚥性肺炎を起こされるので食事を与えられないと言われたから、食べさせなかった。
- ・最期に会えなかった。(2)
- ・父の最期が看取れなかった。
- ・自宅で看取りができなかった。
- ・救急車でいき、そのまま亡くなったので心残り。
- ・自分の仕事の都合で、十分なことをしてやれなかった。
- ・病院での最期だった。仕事中心の生活だった。
- ・家に帰りたいとの思いがあったが、病院での看取りになった。(2)
- ・胃ろうをしてしまったこと。
- ・胃ろうについての知識がないまま胃ろうにしまい、苦しい思いをさせてしまった。(2)
- ・胃ろうしてよかったのか。意識があったのでしてみたが、最後に苦しだったので考えるものがあった。
- ・(祖母)胃ろうをして6か月で亡くなった。
- ・鼻から栄養を入られた。最後は自然に亡くなったから良かった。
- ・今思うと、延命が良かったのかどうか？
- ・管だらけの状態で亡くなった。苦しかったのではないかと……
- ・病院に入院して最期。がんが痛みが強くなって食べれなくなった。
- ・緩和ケア病棟に入院したので、なかなか行けなかった。
- ・祖父自身が、自宅で亡くなりたことと延命治療をしたくないとの意思があり、家族や病院と相談し、自宅で看取することはできた。ただ、余命がなくなるまでどの段階にいるなどの話を訪問診療のDrにもっとちゃんと聞き、もっと最後に祖父と話をしておけばよかったと心残りがある。
- ・母をガンで看取りを行った際、抗がん剤の治療後の病院の対応が「もう治療はありません」と言われ、家族はとても悲しい気持ちになりました。最後までしっかり説明や相談にのってもらいたかったです。
- ・最後は、緩和ケア病院に入院し最期を迎えましたが……
- ・家族は点滴を希望されているが、看取りの方に針を刺し点滴が難しい時も、何度も針を刺してかわいそうだと感じた。本人様はそれを望んでいるのか疑問に思った。
- ・ご家族の思いが先行したため。
- ・コロナで面会が制限された。
- ・コロナで会えなかった。病院で会う時間がなかった。

- ・コロナで会えなくなり、一緒に過ごせなかった。最後はあまり立ち会っての看病ができなかった。（2）
- ・父の場合が、医療機関に最期を任せきりにした点。
- ・いよいよの時より、もう少し早い段階で病院の先生と話をしたらよかった。
- ・医者の説明不足。納得できなかった。（2）
- ・間に合わなかった。転院先に納得できなかった。
- ・看取りの時主治医が留守で、初めてのドクターだった。
- ・治療方法。

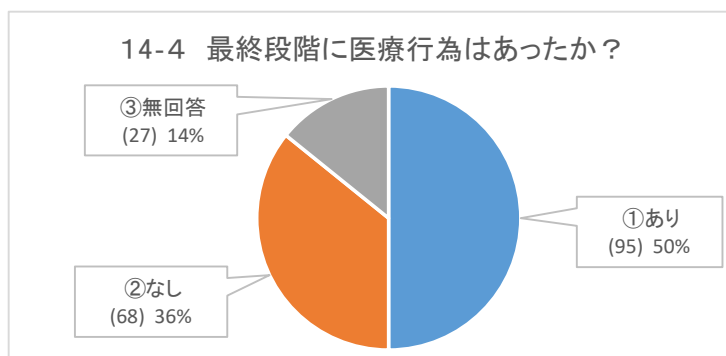
○問14-3の「③その他」

- ・不満は、自身が幼かったのではないが、つらそうな祖母の姿が目に残っている。
- ・その時の状況で納得した看取りだった。姉（45歳）の時は、子供が小さかったので思うように看取れなかった。病院で看取ることができず亡くなり、姉に対して申し訳なく思う。
- ・父については心残りはないが、母について少し心残りがある。息を引き取る瞬間にその場にいなかった。
- ・父の看取りには、心残りや不満等があった。
- ・これまでの支援で良かったのか…

※問14で「①あり」と回答した方

【問14-4】最終段階（看取りの時）に医療行為はありましたか？

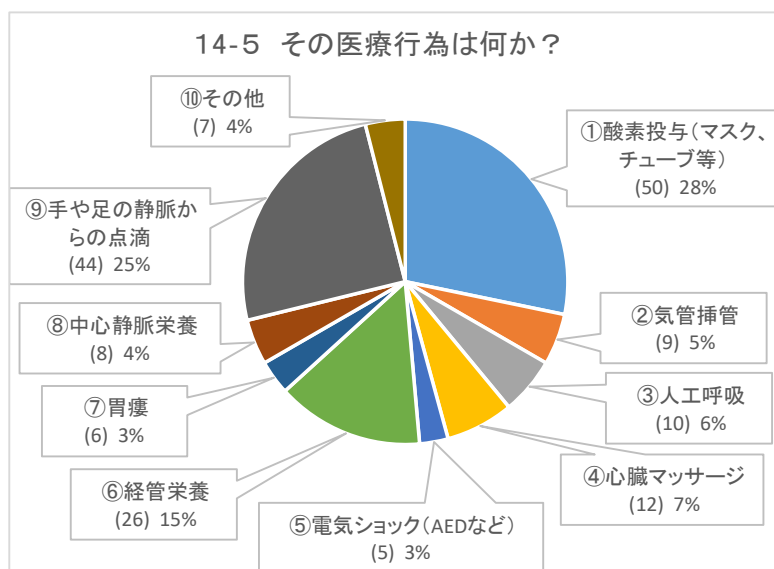
①あり	95
②なし	68
③無回答	27
計	190



※問14-4で「①あり」と回答した方

【問14-5】その医療行為は、次のどれですか？（※複数回答あり）

①酸素投与（マスク、チューブ等）	50
②気管挿管	9
③人工呼吸	10
④心臓マッサージ	12
⑤電気ショック（AEDなど）	5
⑥経管栄養	26
⑦胃瘻	6
⑧中心静脈栄養	8
⑨手や足の静脈からの点滴	44
⑩その他	7
計	177



※②気管挿管 …… 口から気管に管を入れる

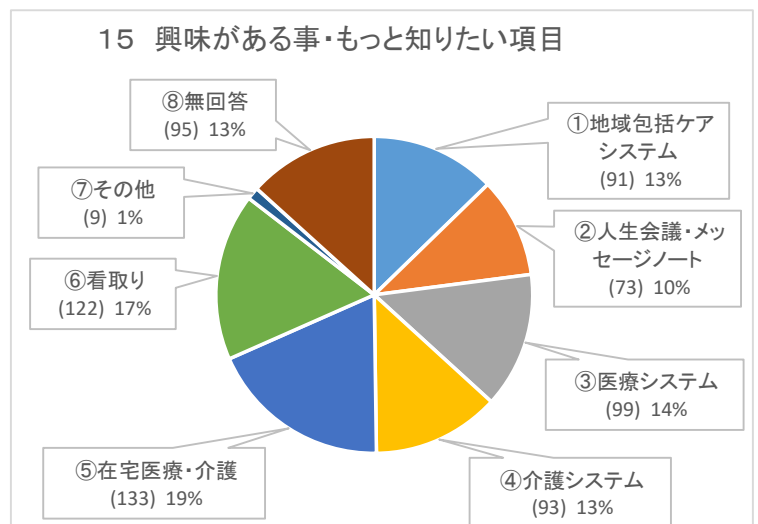
※⑥経管栄養 …… 口や鼻から胃にチューブを入れて栄養補給

※⑦胃瘻 …… おなかから胃に管を通して栄養補給

※⑧中心静脈栄養 …… 大きな血管から栄養の点滴

【問 1 5】次の中で、興味がある事、もっと知りたい項目を選んでください。（※複数回答あり）

①地域包括ケアシステム	91
②人生会議・メッセージノート	73
③医療システム	99
④介護システム	93
⑤在宅医療・介護	133
⑥看取り	122
⑦その他	9
⑧無回答	95
計	715



※③医療システム …… 医療の複雑さ、病院等の機能や役割分担、熊本市の状況等

※④介護システム …… 介護の複雑さ、施設等の機能や役割分担、熊本市の状況等

※⑤在宅医療・介護 … 内容や役割分担、熊本市の状況等

※⑥看取り …………… 人生最終段階の状態や、最終段階の医療・介護及び延命治療等

○問 1 5の「⑦その他」

- ・ 高齢者施設の安価を希望。
- ・ グループホームや施設で看取りができるのか話し合ってほしい。
- ・ 老人施設や障がい者施設等での看取りについてもフォーラムしてほしい。特に障がい者施設での看取り。
- ・ 貴重なお話が聞けて、大変参考になりました。ありがとうございました。